

米子工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	地理
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	プリント・資料を配付。					
担当教員	加藤 博和					
到達目標						
世界や日本の現状と課題を理解し活用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	球面上の世界について十分説明・考察できる。		問題について説明・考察できる。		問題について説明・考察できない。	
評価項目2	世界各地の生活・文化について十分説明・考察できる。		世界各地の生活・文化について説明・考察できる。		世界各地の生活・文化について説明・考察できない。	
評価項目3	地球的課題について十分説明・考察できる。		地球的課題について説明・考察できる。		地球的課題について説明・考察できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	これまで学習してきた歴史、現代社会の授業内容も踏まえ、世界や日本の今を読み解く。					
授業の進め方・方法	プリント・資料を配付し、講義形式で進める。レポート課題などを出題する。					
注意点	ニュースなどを見て、世界情勢や日本の関わりなどについて、関心を持ってほしい。 オフィスアワー：月 16：00～17：00					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	球面上の世界		国と国の結び付きなどについて説明・考察できる。	
		2週	自然・生活・文化と私たちの暮らし		地形、気候、経済・文化について説明・考察できる。	
		3週	世界各地の生活・文化：中国（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		4週	中国（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		5週	朝鮮半島（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		6週	朝鮮半島（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		7週	東南アジア（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	東南アジア（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		10週	南アジア（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		11週	中央アジア・西アジア・北アフリカ（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		12週	中央アジア・西アジア・北アフリカ（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		13週	サハラ以南アフリカ（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		14週	サハラ以南アフリカ（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		15週	ヨーロッパ（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	ヨーロッパ（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		2週	ロシア（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		3週	ロシア（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		4週	アングロアメリカ（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		5週	アングロアメリカ（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		6週	ラテンアメリカ（1）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		7週	ラテンアメリカ（2）		自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。	
		8週	中間試験			

	4thQ	9週	オセアニア（１）	自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。
		10週	オセアニア（２）	自然、歴史・文化、産業、経済発展と課題、日本との関係について説明・考察できる。
		11週	地球的課題：人口問題	人口問題について説明・考察できる。
		12週	食料問題	食料問題について説明・考察できる。
		13週	居住・都市問題	居住・都市問題について説明・考察できる。
		14週	資源・エネルギー問題	資源・エネルギー問題について説明・考察できる。
		15週	環境問題	環境問題について説明・考察できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	2	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0